

社会福祉法人大田幸陽会 法人本部

平成 28 年度事業報告

1 評議員会の開催

第1回	平成 28 年 5 月 27 日 (金)	審議件数 4 件	報告件数 7 件
第2回	平成 28 年 10 月 25 日 (火)	審議件数 6 件	報告件数 4 件
第3回	平成 29 年 3 月 24 日 (金)	審議件数 9 件	報告件数 7 件

2 理事会の開催

第1回	平成 28 年 5 月 27 日 (金)	審議件数 4 件	報告件数 8 件
第2回	平成 28 年 10 月 25 日 (火)	審議件数 7 件	報告件数 4 件
第3回	平成 28 年 11 月 29 日 (火)	審議件数 2 件	報告件数 4 件
第4回	平成 28 年 12 月 20 日 (火)	審議件数 8 件	報告件数 7 件
第5回	平成 29 年 2 月 23 日 (木)	審議件数 4 件	報告件数 3 件
第6回	平成 29 年 3 月 24 日 (金)	審議件数 8 件	報告件数 7 件
第7回	平成 29 年 3 月 26 日 (日)	審議件数 1 件	

3 評議員選任・解任委員会の招集及び開催

招集	平成 29 年 2 月 23 日 (木)
開催	平成 29 年 3 月 3 日 (金)

4 定款変更及び規則、規程等の制定・施行及び改正等 27 件

- (1) 障害者生活ホーム園運営規程の一部改正 (平成 28 年 7 月 1 日施行)
- (2) 定款変更 (平成 28 年 12 月 28 日認可、平成 29 年 4 月 1 日施行)
- (3) 給与規程の一部改正 (平成 28 年 8 月 1 日施行)
- (4) 就業規則の一部改正 (平成 28 年 8 月 1 日施行)
- (5) 嘱託職員就業規則の一部改正 (平成 27 年 4 月 1 日施行)
- (6) 3 等級及び 4 等級昇格選考要綱の一部改正 (平成 28 年 10 月 5 日施行)
- (7) 経理規程の一部改正 (平成 28 年 11 月 1 日施行)
- (8) 障害者生活ホーム園運営規程の一部改正 (平成 28 年 11 月 1 日施行)
- (9) 相談支援室さんさん幸陽運営規程の一部改正 (平成 29 年 1 月 1 日施行)
- (10) 評議員選任・解任委員会の運営に関する定款細則の制定 (平成 29 年 1 月 1 日施行)
- (11) 非常勤職員就業規則の一部改正 (平成 28 年 10 月 1 日施行)
- (12) 育児・介護休業等に関する規程の全面改正 (平成 29 年 1 月 1 日施行)
- (13) 評議員選任・解任委員会の運営に関する定款細則の一部改正 (平成 29 年 1 月 1 日施行)
- (14) 短時間正規職員への転換に関する運用規程の制定 (平成 29 年 4 月 1 日施行)
- (15) 定款変更 (平成 29 年 3 月 29 日認可、平成 29 年 4 月 1 日施行)
- (16) 経理規程の一部改正 (平成 29 年 4 月 1 日施行)
- (17) 法令遵守推進体制等に関する規程の一部改正 (平成 29 年 4 月 1 日施行)

- (18) セクシュアルハラスメント防止に関する苦情解決委員会規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (19) 懲戒委員会規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (20) 法人役員・弔慰金等支給規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (21) 役員等の報酬に関する規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (22) 役員等交通費支給規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (23) 組織規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (24) 文書管理規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (25) 嘱託職員就業規則の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (26) サービス提供時間の記載に関する各事業所運営規程の一部改正（一括）（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- (27) ケアサポート幸陽運営規程の一部改正（平成 29 年 4 月 1 日施行）

5 組合登記令による法人登記

資産総額 1,529,063,210 円⇒1,577,306,303 円 平成 28 年 5 月 30 日登記

6 職員等の採用・退職等

	正規・嘱託等	契約職員	非常勤職員	合計
施設長等の採用	1			1
職員採用	22	4	23	49
計	23	4	23	50
	正規・嘱託等	契約職員	非常勤職員	合計
施設長等退職	2			2
職員退職	12	1	6	19
計	14	1	6	21

7 昇格選考

・平成 28 年 12 月 17 日（土）10 時～筆記試験・13 時～面接試験

区 分	3 等級昇格試験	4 等級昇格試験
A 有資格者	20 人	7 人
B 受験申込者	7 人	3 人
C 受験率	35.0%	42.9%
D 受験者	7 人	3 人
E 合格者	7 人	2 人
F 合格率 (E/D)	100.0%	66.7%

8 第 4 次経営改革プランの確定・公表

経過：5 月 27 日第 1 回評議員会・理事会に「平成 27 年度法人事業推進 PT 活動報告書」を提出し、「第 4 次経営改革プラン」概要案を説明

確定：7 月 5 日付け理事長決定と全事業所送付・職員回覧

公表：7 月 9 日第 14 回法人職員全体研修会において概要説明

11 月 21 日大田区福祉部概要説明

9 重点目標の推進状況

1) 新規事業の展開

目標・ねらい	① 法人事業の面的体制整備について ア) 月間約70件の計画相談事業を推進する体制整備
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援室さんさん幸陽事務所をラナハウス西糺谷に移転した。 ・上半期の月間平均相談件数が約80件と当初見込みを上回った。 ・相談支援専門員の増員配置を平成29年2月1日に1名行った。 ・「サービス担当者会議」を前年度以上に重点開催することで、サービス提供事業者間の「顔の見える」関係づくりをすすめた。

目標・ねらい	① 法人事業の面的体制整備について イ) 既存拠点の多機能事業化と事業間連携実現に向けた企画立案・試行
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師連絡会及び栄養士連絡会を通じた地域生活支援の取り組みを進めた。看護師・栄養士が、生活ホームで食事の提供や保健衛生に関わる支援員等との懇談の機会を設けた。 ・近接事業所間の職員交流に取り組んでいる つばさホーム前の浦とのぞみ園：いつつのわ幸陽祭共同開催、 つばさ自立訓練（短期・緊急一時）・のぞみ併用利用者の利用者連携、館内合同防災訓練の企画立案・実施 つばさホーム前の浦と障害者生活ホームとの職員交流：次年度に向けて、施設間交流研修を実施。研修内にて係長間での打ち合わせを行った。） ・社会福祉法人有隣協会（本部：大田区仲六郷、設立：昭和28年、主な事業：生活困窮福祉・高齢者福祉、公益事業）と、法人間の枠を超えた福祉人材の育成と事業の研修交流で4月一致し、取り組みを始めた。 6月20日自立支援センター目黒寮へ法人管理職6名が見学・懇談 7月9日法人職員全体研修会に有隣協会管理職4名が来賓参加、 7月25日さわやかワークセンター見学会・懇談会開催 9月16日目黒寮訪問：つばさホーム・さわやかワークセンター役職員 9月27日有隣協会研修会に法人職員2名参加 11月11日有隣協会役職員6名幸陽会館見学・情報交換会：つばさホーム・のぞみ役職員

目標・ねらい	②西糺谷幸陽ホームの新規開設支援等
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・西糺谷第三幸陽ホーム（男性寮4室・体験型1室）、同第四幸陽ホーム（女性寮5室）を7月1日に開設し、9名が順次入居した。 ・入居者選考に36名の応募（4倍）があり、本事業ニーズの高さを痛感するとともに、本面接が「地域生活移行」についての相談、つまり事実上「一般相談」の役割を担っていることに気付かされた。 ・8ユニット（定員39名）体制を円滑運営する従事者採用を進めた。

	<p>・体験型の運営について、参考となる事業所見学会を9月12日実施（世田谷区立松原けやき寮）した。民立民営の体験型運営事例が少ないため開設運営は手探りとなること、給付費請求の手続きについて大田区との協議が必要であること等から、運営開始時期を後方にずらし平成29年度の実施とする。</p>
--	--

目標・ねらい	③将来を見据えた新規事業の取り組み
実績・課題	<p>（仮称）大田区立志茂田福祉センター業務委託事業について 7月1日募集要項公表、7月12日説明会出席。 8月5日応募、9月23日第2次審査（プレゼンテーション）、 10月4日付区長決定、10月14日議会報告を経て、 当法人が受託事業者に決定した。 1月1日から並行運営受託事業の準備室を開設・順次10名の職員を配置し、業務引継を円滑に実施した。</p>

9-2) 地域公益活動の推進

目標・ねらい	①移動支援従業者養成研修事業の受講率改善策の検討・実施
実績・課題	<p>・平成28年度第1回を7月30日及び8月6～7日で開催。 受講者16名。ヘルパー登録なし。 ・次回2月11～12日・19日開催。受講定員枠を拡大した。 受講者25名。ヘルパー登録なし。</p>

目標・ねらい	②福祉コミュニティ形成への貢献																
実績・課題	<p>・ボランティアの積極的受入：参加型福祉コミュニティ形成への寄与</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>のぞみ園</td> <td>延べ100名</td> <td>新井宿福祉園</td> <td>延べ762名</td> </tr> <tr> <td>まごめ園</td> <td>延べ114名</td> <td>池上福祉園</td> <td>延べ129名</td> </tr> <tr> <td>さわやかワーク</td> <td>延べ42名</td> <td>大森東福祉園</td> <td>延べ425名</td> </tr> <tr> <td>しいのき園</td> <td>延べ164名</td> <td>合計</td> <td>1,736名 (前年1,999名)</td> </tr> </table>	のぞみ園	延べ100名	新井宿福祉園	延べ762名	まごめ園	延べ114名	池上福祉園	延べ129名	さわやかワーク	延べ42名	大森東福祉園	延べ425名	しいのき園	延べ164名	合計	1,736名 (前年1,999名)
のぞみ園	延べ100名	新井宿福祉園	延べ762名														
まごめ園	延べ114名	池上福祉園	延べ129名														
さわやかワーク	延べ42名	大森東福祉園	延べ425名														
しいのき園	延べ164名	合計	1,736名 (前年1,999名)														

目標・ねらい	③福祉実習学生の受入拡大を図り福祉人材育成に貢献する				
実績	社会福祉士	介護等体験	人事院	その他	合計
のぞみ園	2名 22日	4名 20日	3名 15日	2名 24日	11名 81日
まごめ園		6名 30日	3名 15日	3名 3日	12名 48日
さわやかワーク	5名 104日				5名 104日
しいのき園	2名 31日	6名 30日		2名 24日	10名 85日
新井宿福祉園	2名 48日	8名 40日		11名 44日	21名 132日
池上福祉園	3名 71日	15名 75日	9名 45日	1名 2日	28名 193日
大森東福祉園	1名 23日	10名 50日			11名 73日
合計	15名 299日	49名 245日	15名 75日	19名 97日	98名 716日

目標・ねらい	④事業所毎に施設機能等を地域還元するプラスワンの取り組み
実績・課題	<p>のぞみ園：社会福祉法人有隣協会が運営する「大森中老人いこいの家」と9月に音楽交流企画。10月23日地域祭りいつつのわふれあい祭りに太鼓クラブがオープニングセレモニーを披露。2月15日大森第四小学校5年生100名の福祉講座・施設見学会実施。</p> <p>まごめ園：近隣区営住宅敷地の清掃ボランティア（6月から偶数月で実施）及び地域イベント（合同防災訓練、盆踊り大会、祭礼等）への参加及び職員による設営等の人的協力、テントや太鼓の貸出。</p> <p>さわやか：コミュニティスペース「茶和や」の運営（ふれあいはずぬま利用者を中心に週当たり4～5組の利用あり）。池上福祉園及び近隣の高齢者サービス事業所等と実行委員会を組織して、地域向け公開福祉講座「元気いらっしやいカフェ」を12月3日開催。第1部：認知症講演会（高瀬義昌ドクター）、第2部：実技予防体操、福祉情報コーナーを設け、約70名の来場者と交流を得る。</p> <p>しいのき：移動支援を利用する方とその支援者に向けた施設開放。延75名が利用した。都営アパートの清掃（週1回）。地域行事の準備・片づけ。</p> <p>新井宿：子どもガーデンパーティー協力団体として文化の森会場でアクセサリー製作コーナーを運営。来場者推定500名。大森第三中学校生徒会との共同開催（教育と福祉の連携）による第16回運動交流会を8月3日に開催。新井宿民生委員児童委員協議会の皆様による継続的な「煎餅製造交流」及び新井宿出張所での作業製品販売交流（定期開催）。</p> <p>池上：地区の団体にホールを貸し出す（18回）。町内のボランティア団体の依頼を受け、園長が池上福祉園及び障がい者福祉に関する講話をする（9月13日）。上記の地域向け福祉講座「元気いらっしやいカフェ」の実施会場として企画参加する。</p> <p>大森東：大森東一丁目団地自治会（6号棟）の空き缶回収、集積場清掃を週2回実施。地域町会等への事業所内ホール貸出7回、地域まつり等への物品貸出6回。地域向けイベントの企画、開催（人形劇、移動動物園）。地域や小学校と連携して「福祉避難所開設訓練」を実施。</p>

目標・ねらい	⑤「おおたスマイルプロジェクト(*)」の推進 (*)大田区社協・池上長寿園・大洋社・当法人で地域の福祉的課題に連携して取り組むしくみ
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「れいんぼう（一人親家庭の子どもの体験型学習支援の場）」事業の第二期活動（H28.4～H28.9）全13回のうち、大田区立前の浦集會室を使って7回開催し、パソコン検定等の学習活動やランチづくり等を行った。 活動報告サイト参照 http://blog.livedoor.jp/himacos/archives/2016-09.html ・大田区社会福祉法人協議会の幹事法人として「おおた福祉カレッジ（区内法人の垣根を越えて、福祉人材育成や研修交流に取り組んで行くことを目的とする活動）」構想の検討を始めた。 ・大田区社会福祉法人協議会の活動推進に取り組んでいる。 幹事会8回開催 5/11、6/15、7/25、9/26、11/30、12/27、1/23、2/17 全体会3回開催 第1回 8/4、第2回 12/8、第3回 2/20

目標・ねらい	⑥東京都社協の広域貢献事業(*)への取り組み（検討と試行） (*)「はたらくサポートとうきょう（中間的就労推進事業）」のこと
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度東京都地域公益活動推進協議会設立準備委員会の広域連携事業推進プロジェクト委員として当法人事務局長が、6月29日・7月27日の会議に参加した。 ・東京都地域公益活動推進協議会へ入会した（7月8日）。 ・8月17日「はたらくサポートとうきょう」説明会第1回に、本部（局長）及びのぞみ園、まごめ園、さわやかワークセンターの各施設長等（全4名）が出席する。3月30日「はたらくサポートとうきょう」への参加申込を3事業所が行った。 ・東社協「社会福祉法人による地域公益活動の取組事例集」（6月発行）34事例の一つとして、当法人の実践が「地域で暮らす障害者の『働く』を支える」事例として紹介される。

9-3) サービスの質の向上（安心と信頼の構築）

目標・ねらい	①高齢や重度重複、疾病により医療的対応が必要な方、自閉症等発達障害の側面からのアプローチが必要な方、就労定着支援および就労支援と生活支援を一体で必要とする方への支援方法をチームで確認し、事業所間でも共有できる体制づくり
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の実施方法を今年度から切り替え、「集合研修」形式から、各事業所「現場」で深める方式とした。 従来から事業所ごとに事例検討は行っていたが、施設内部にこもること無く「多様な視点」「地域の視点」のある開かれた事例検討として定期的に行うことができるよう、法人全体研修会終了後、法人としてのレベルあわせに取り組んでいる。 ・事例検討を促進するための担当者会議を計画実施する。 ・研修委員会で「階層別研修」を下表の通り企画し実施した。

○階層別研修の平成 28 年度実績は下表の通り

	内容
3・4 等級	○「事例検討促進分科会」 座長：支援係長、主任 全 6 回(10/5,10/18,11/10,12/16,1/30,2/21) 延 53 名
3 等級 (28 年度 昇格者)	○「リーダーシップと組織管理、コーチングとコミュニケーション」 ○「SWOT クロス分析」○「ロジカルシンキング」 講師：支援係長、主任 全 4 回(7/21,8/31,9/13,11/24) 延 16 名
2 等級	○「キャリアパス形成研修」 講師：久保田義徳氏 (株)川原経営総合センター 全 4 回(9/6,10/18,11/14,12/6) 延 76 名
新任職員	○「法人概要」 ○「メンバースhip・コミュニケーション、業務標準・業務管理・接遇、諸規定」 ○「人権・行動障害・個別支援計画」○「フォローアップ研修」 講師、座長：事務局長、支援係長、主任 全 4 回(4/1,4/11,4/12,10/3) 延 44 名
全階層	○「権利擁護研修」 講師：支援係長、主任 全 3 回(12/12, 1/13, 1/16) 延 150 名 ○「行動障害分科会」 座長：支援係長、主任 1 等級 全 8 回(10/4, 10/21, 11/7, 11/21, 12/5, 12/26, 1/16, 2/20) 延 85 名 2 等級 全 8 回(10/4, 10/25, 11/8, 11/22, 12/2, 12/19, 1/23, 2/13) 延 55 名

目標・ねらい	②サービス提供ガイドラインの活用整備
実績・課題	<p>・人権権利擁護推進委員会として各事業所の人権 PT 委員会代表者による会議を 4 回開催し、以下の取り組みを推進した。</p> <p>〈第 1 回（6 月 6 日開催）〉</p> <p>・サービス提供ガイドラインのチェックリスト実施状況の報告及び虐待防止チェックリストを実施することについて検討。</p> <p>・人権研修の実施予定について確認</p> <p>・人権 PT 活動の標準化の検討：各事業所の取り組みを共有していく。</p> <p>〈第 2 回（9 月 5 日開催）〉</p> <p>・サービス提供ガイドラインチェックリストの全体実施と分析 ⇒12 月から始まる権利擁護研修へつなげる</p> <p>・全社協「虐待防止の手引き」にあるチェックリストの全体実施 ⇒基本に立ち戻る機会とする</p> <p>・合理的配慮の具体例と視点の説明、確認</p> <p>〈第 3 回（12 月 5 日開催）〉</p> <p>・ガイドラインチェックリスト集計分析・検証について ⇒集計結果配布、各事業所代表者から実施状況・気づき・考察等を共有</p> <p>・虐待防止チェックリストの考察について ⇒集計結果から、各代表者の課題意識や考察、現状について話し合い</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護研修について <p>⇒法人の権利擁護研修実施内容について検討。ガイドライン・虐待防止チェックの結果をフィードバックし、法人の権利擁護規程等の再確認場面ともする研修内容企画</p> <p>〈第4回（3月6日開催）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の振り返り及び「法人権利擁護研修報告書」の進捗確認並びに次年度以降の取組み及び予定について意見交換 <p>〈社会福祉法人大田幸陽会 権利擁護研修の企画・開催〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部事務局及び研修委員会との共同企画で開催 ・法人職員全員参加型の拠点集合研修として全3回実施 ①H28. 12. 12：前の浦集会室 ②H29. 1. 13：新井宿福祉園 ③H29. 1. 16：池上福祉園 <p>⇒相模原事件及び社会動向、利用者・地域の状況を踏まえ、人権・権利擁護に関する共通認識（「普遍的な人権」）の共有の他、サービス提供ガイドライン、虐待防止チェックリストの集計分析結果の共有及び権利擁護規程等の再確認の研修とした</p>
--	---

目標・ねらい	③成年後見制度の学習等及び 大田幸陽会版「成年後見制度活用マニュアル」作成
実績・課題	・人権権利擁護推進委員会において、つばさホーム前の浦で使用している「成年後見利用手順」書（H23.3作成版）を出発点とし、障害者生活ホームで利用促進を行った事例や各事業所の状況を把握しながら、当法人の現状にあった試作版づくりを継続している。

目標・ねらい	④事業運営に係るサービス基準の標準化 ⑤「支援および危機管理マニュアル」「リスクマネジメント結果報告」の活用整備（継続）
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを全面改定した平成28年度版を8月末交付した。相模原事件を受け「不審者対応」の項目を見直した。 ・リスクマネジメントは、情報共有ツール上にデータ入力をおこない、閲覧と即時集計ができるようシステム改良を前年末に実施し、今年度前半は新システムの試行運用を行っている。 ・後半は、細分化する集計項目の整理し、システムの入力方法を簡素化した。リスクマネジメントに於いては、各委員会（サービス管理・支援マニュアル）との連携を行う必要性を確認し、次年度の課題とした。

目標・ねらい	⑥防災訓練・災害時想定訓練の計画実施及び事業継続計画の検討
実績・課題	<p>・不審者対応訓練の実施</p> <p>目的：相模原事件を受け、警察専門職の方から講習を受けることにより、各職員が一人一人の生命安全の尊重する意識向上及び防犯に対する注意喚起と意識の共有をおこなう。</p> <p>日 時：平成 28 年 8 月 24 日 16:00～17:00</p> <p>場 所：池上福祉園 3 階多目的ホール</p> <p>講 師：池上警察署生活安全課防犯係（3 名）</p> <p>参加者：池上福祉園職員 27 名・徳持高齢者在宅 SC 職員 1 名</p> <p>この実施結果報告を 8 月 25 日経営会議で共有した。</p> <p>・警察署員の訪問対応</p> <p>大森東福祉園 8/25：大森警察防災活動アドバイザーによる安全チェック 10/13：大森警察防災活動アドバイザーによる講話 12/15：講話を踏まえた職員による不審者想定訓練実施 3/10：警察直通の非常通報装置を設置</p> <p>新井宿福祉園 8/29：同上安全チェック 3/3：警察直通の非常通報装置を設置</p> <p>しいのき園 8/上旬：蒲田警察防犯係巡回、下旬電話確認</p> <p>さわやかワーク 8/上旬：池上警察来所</p> <p>つばさホーム・のぞみ園 9/1：大森警察防災活動アドバイザー来所</p> <p>主な助言内容</p> <p>ボタンを押すだけで通報できるシステムの提案。</p> <p>「さす又」はたすき掛けに押さえ付けるもの。訓練が必要。ホイッスルは非常ベル代わりになるため便利である。</p> <p>消火器は顔に噴きつける。消火器での殴打は過剰防衛。</p> <p>室内限定であれば木刀は可（室外使用は銃刀法違反）。</p> <p>110 番通報は「犯人の特徴」「逃げた方向」</p> <p>対応…さす又を手に取り、扱い方を実地で確認。</p> <p>消火器の位置と使用期限、安全ピンの確認を実施。</p> <p>・大田幸陽会会館としての防犯・防災対応</p> <p>警備会社による防犯対策グッズの講習を受ける</p> <p>会館の外周を警備会社と確認し、会館南側を中心に侵入口となりそうな箇所に警備会社のロゴ入りシールを複数枚貼る。</p> <p>会館入口にボードを設置、来館者が必ず 1 階窓口に声をかけるように促す掲示をした。曜日・時間帯別による入館者対応策をつばさホームと協議し作成。毎朝の外周清掃時に不審物等の確認を実施している。</p> <p>毎日の「館内設備自主点検表」による施錠等確認を再度徹底。</p> <p>3 月 23 日に津波及び台風等による土砂水害を想定した全館合同高所避難訓練を実施。</p>

9-4) 人材採用・育成

目標・ねらい	<p>①厚くなってきた「中核職員（副主任・主任・係長）」および次世代のリーダー職員の研修内容の再構築</p> <p>②理念・ビジョン・キャリアパス・事例等に基づいて「この仕事の魅力・深さ・広さを自分の言葉でポジティブに話せる福祉人材」育成（研修 PT キーワード：「構造化」「虐待防止」「支援技術の振り返り」「寛容と尊敬」の周知）</p> <p>③理念と経営環境を踏まえた財務会計スタッフ育成・管理監督職育成</p>
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修委員会で「階層別研修」を別表の通り企画した。 ・相模原事件後の知的障害者福祉・対人福祉支援のあり方を考えることを含め、全階層を対象に「人権・権利擁護研修」を実施した。

目標・ねらい	④事例検討への参加から発表へ、発表から担当講師へのステップアップ推進
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・7月の法人職員全体研修会報告（概要案）を9月にまとめ、事例検討と事例発表の関係を整理していく。 ・研修委員会で「階層別研修」を別表の通り企画した。 ・「事例検討促進分科会」を実施し、各事業所での事例検討に取り組んだ。※参照：3）サービスの質の向上 ①の実績・課題

目標・ねらい	⑤創設した社会福祉士等国家資格取得奨励制度の周知と取得促進
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年実施の試験に職員5名が合格（社会福祉士2名、介護福祉士3名）し、奨励金を7月支給、全体研修会で該当職員を紹介した。

目標・ねらい	⑥将来を見据え、サービス管理責任者・相談支援専門員・実習指導担当者の各資格所持者を複数配置できるよう引き続き計画的な講習受講の推進
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第1回東京都相談支援従事者初任者研修に法人として4名申込み（5月）が全員認められ、6月から8月にかけて6日間の研修を終了した。 ・平成28年度第2回東京都相談支援従事者初任者研修に法人として4名申込み（11月）、1月から2月にかけて6日間の研修を終了した。（うち1名は諸事情により修了できず） ・平成28年度第1回東京都サービス管理責任者研修（6月開催2日課程）への各事業所申込該当者はなかった。

目標・ねらい	⑦29年度職員採用の計画実施
実績・課題	<p>本部及び採用 PT の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用案内パンフレット自主製作 ・フクシゴト2017求人情報サイト掲載（6月21日開始） https://fukushigoto.f2f.or.jp/search/831 ・FUKUSHI 就職フェア参加 7月3日 27名面談 ・法人説明会開催8月26日 対象学生8名、非該当学生等5名 ・大田幸陽会体感見学ツアーの試行と本実施 試行：6月7日（3名参加）本実施：9月6日、13日、20日 ・日本社会事業大学説明会参加（主催：大學新聞社）9月28日 ・東社協「福祉人材確保ネットワーク事業」への参加9月30日 ・転職サイトによる求人・採用活動 ①12月 ②2月 <p>結果：区立志茂田福祉センター一部業務受託に係る準備及び事業拡充を含め、11月から40名余の新規採用を行い配置計画の充足を実現した。</p>

9-5) 改正社会福祉法対応を見据えた経営改革推進

目標・ねらい	①ガバナンス（自己統治力）強化
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・法人事業企画調整室設置要綱の改正施行により「拠点事業検討会」を設置し、新規事業の課題について検討を行った。 ・8月9日の社会福祉法人制度説明会資料及び8月22日の厚労省資料により8月下旬から、定款改正作業に入る。 ・定款変更手続き（平成28年12月28日認可、平成29年3月29日認可） ・評議員選任・解任委員会の運営に関する定款細則 （平成28年12月20日制定、平成29年1月1日施行） ・評議員選任・解任委員会委員の選任（平成29年2月23日） ・評議員候補者推薦（平成29年2月23日） ・評議員選任（平成29年3月3日）

目標・ねらい	②法人の活力ある持続的発展に向けた人事制度・組織の強化
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタントを入れ定期会議を開催し、多様な働き方への検討を行い、職員の介護離職防止を目的とする「短時間正規職員への転換に関する運用規程」を制定。新年度施行とした。

目標・ねらい	③財務規律強化
実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・専任管理職を本部事務局に配置した。新会計システム変更2年目の月次会計点検に円滑対応、社会福祉法改正に伴う財務諸表等電子開示並びに社会福祉充実残額算定への対応を進めた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の長期資金計画算定準備等のため、法人所有建物の長期修繕計画の作成に係る調査等の業務を（株）ニッテイ建築設計に委託し、29年2月に報告書を受理した。次年度以降、長期修繕計画策定に取り組む。 ・会計顧問により本部と各拠点間の会計処理ルールの見直しを進め、法人全体を視野に拠点区分間資金繰入額の適正化を図った。本部経費の各拠点への配賦基準を策定し配賦処理を実施した。
--	--

目標・ねらい	④IT 統制環境の整備と IT の活用
実績・課題	<p>情報管理システム委員会を開催</p> <p>第1回 5/18、第2回 6/21、第3回 7/26、第4回 9/7 第5回 10/13、第6回 11/14、第7回 12/16、第8回 2/14</p> <p>取組事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所のホームページ更新及びホームページ未作成事業所の作成支援を進め、一部除き完了した。 ・業務日誌の一元化を検討し、一部除き統一様式移行完了。 ・PC台帳、アプリケーションソフト一覧表を整理作成。 ・電子決裁ソフトの導入検討、ソフトの調査絞り込み中。 ・ヒヤリハットアプリ改訂（年度更新） ・事務様式の効率化の提案 ・課題：情報セキュリティ研修、業務データ一元化、グループウェアの管理、各種様式の電子化

10 リスクマネジメント報告

平成28年度集計結果：件数 988 件

事業所名	年間件数	リスクレベル				
		1	2	3	4	5
のぞみ園	206	113	89	4	0	0
まごめ園	63	14	35	8	4	2
しいのき園	49	4	29	9	6	1
さわやか	29	3	18	6	0	2
新井宿	287	41	191	53	2	0
池上	114	27	56	31	0	0
大森東	110	24	68	12	3	3
つばさ	80	13	35	30	2	0
生活ホーム	19	9	2	5	3	0
ケアサポート	30	21	7	1	1	0
さんさん幸陽	1	0	0	0	1	0
計	988	269	530	159	22	8

リスクレベル別 レベル1（ひやりはっと）269件、
 レベル2（軽微な事故）530件、
 レベル3（ケガ、破損等具体的な損害が発生した事故）159件、
 レベル4（他機関との連携が必要な事故）22件、
 レベル5（救急対応、重大事故）8件の内訳

①4月：利用者の発作転倒、救急車要請。受診結果異常なし。
②8月：利用者の発作転倒、救急車要請。外傷無し。薬の血中濃度低下。
③8月：施設の階段踊り場のガラスが破損。利用者が手をついた際に割れる
④8月：利用者の転倒。救急車要請。骨折3週間入院。
⑤9月：消火器転倒による薬剤噴出事件発生。カフェコスモ休業。
⑥9月：利用者の体調悪化により救急車要請。点滴等の処置。
⑦10月：利用者のてんかん発作による救急車要請。
⑧1月：送迎バスが停止中、他の車両に接触される。けが人無し。

1.1 指導検査・大田区監査及び福祉サービス第三者評価受審

1) 法人指導検査 実施日・事業所・指摘事項・改善報告

平成28年10月20日 新井宿福祉園

- ・従事者勤務体制及び協力医療機関の掲示：改善
- ・協力医療機関との協定書締結：改善中

同年 10月26日 池上福祉園

- ・協力医療機関との協定書締結：改善
- ・小口現金の取扱い管理について：改善

同年 11月 2日 大森東福祉園：指摘事項無し

2) 大田区監査 実施日・事業所

平成28年11月15日 午前 しいのき園・午後 法人本部及びのぞみ園

同年 10月28日 午前 大森東福祉園

3) 第三者評価受審事業所：第6回理事会・第3回評議員会において報告

まごめ園 特定非営利法人 福祉経営研究会

大田区立しいのき園 株式会社 にほんの福祉ネット

大田区立大森東福祉園 特定非営利法人 福祉経営研究会

1.2 訃報

当法人の菅崎貢理事・評議員（92歳）が、平成28年11月28日（月）
 ご逝去されました。当法人にとっては平成5年の法人創設時、まごめ園開設当初
 からの理事・評議員であり、誠に哀悼のいたりにたえません。

あらためて、心からのご冥福をお祈りいたします。

1 3 懲戒委員会

10月27日懲戒委員会を開催し、7月下旬に起きた法人職員間の重大な就業規則違反（人権侵害）について審議した結果、同日、法人として加害職員2名を懲戒解雇（1名）及び停職（1名）とする処分及び監督者・上司各1名への厳重な処分を行いました。

再発防止にむけて、人権を尊重した職場の人間関係や職員指導のあり方を見直し、法人全職員を対象とした人権研修に取り組み、実施しました。

1 4 寄附の受領 5件 1,925,000円

寄付者の氏名・団体名（敬称略）	寄付者の属性	寄附金額
一般社団法人大森倶楽部 理事長 平林義彰	5	1,000,000円
河野 桃弘	1	400,000円
鷺頭 みち	5	25,000円
大田区知的障害者育成会会長 佐々木桃子	5	200,000円
後援会会長 松原茂登樹	5	300,000円

※寄附者の属性の内容：1法人の役職員、2利用者本人、3利用者の家族、4取引業者、5その他

1 5 会議等の開催

- (1) 経営会議 13回
- (2) 法人事業企画調整室拠点事業検討会4回（グループホーム増設の件）
- (3) 人材管理ミーティング(コンサルティング) 11回
- (4) 特命PT
 - ①採用戦略PT 10回
 - ②新規事業・地域展開PT 3回
- (5) 職制会・委員会等
 - ①事務担当者会議 7回
 - ②情報管理システム委員会 8回
 - ③支援係長・主任会議 12回（定例会11回、臨時開催1回）
 - ④社会貢献推進委員会 7回
 - ⑤研修委員会 22回（全体研修会12回・階層別研修10回）
 - ⑥サービス向上委員会 27回
 - ・本会 2回
 - ・リスク管理 9回
 - ・マニュアル整備 10回（各事業所作成担当者会2回）
 - ・サービス管理責任者会 3回
 - ・相談支援従事者会 3回
 - ⑦人権・権利擁護推進委員会 8回（本会4回・各事業所人権PT代表者会議4回）
 - ⑧看護師連絡会 2回
 - ⑨栄養士連絡会 4回